

山形県健康福祉部と連携・協力の協定を締結

山形大学医学部は、平成22年12月7日(火)に山形県健康福祉部と地域医療に係る連携・協力に関する協定を締結しました。調印式は、本学部から山下英俊医学部長、久保田功附属病院長、山川光徳副学部長ほか、山形県健康福祉部からは望月明雄健康福祉部長、阿彦忠之医療政策監ほかが出席し、山川副学部長の進行の下医学部第1会議室で行われました。

調印式では、山下医学部長から協定の趣旨を盛り込んだ挨拶、続いて望月健康福祉部長から山形県における医師不足への対策を含めた挨拶があり、その後に協定書に署名し今後の連携と協力を確約しました。

本協定は、山形県の地域医療の向上と、医療従事者確保に向けての取り組みについて連携と協力を行うものとしており、主なものは以下のとおりです。

- (1) 本年11月本学部を設置した「高度医療人研修センター」において県内医療機関の医師が、所属する医療機関と大学病院との間で循環型研修を行うための支援や大学院に入学し高度な研究及び学位取得のマッチングを行うことによる県内医師のキャリアアップを図る等の連携・協力を行う。
- (2) 「山形方式・医師生涯サポートプログラム」で山形大学医学部医学科入学生及び在学生更には専門医研修への修学資金支援を行い、学生から卒後臨床研修までのバックアップを実施し、医療従事者確保に向けて連携・協力する。
- (3) 「潜在看護師を対象としたOJT重視の看護師リフレッシュ研修」で給与を得ながら山形大学医学部附属病院で **On the Job Training (OJT：実務をとおしたトレーニング)**を行う全国的にも極めてユニークな潜在看護師復職支援事業等でのスキルアップを行い、県ナースセンターを活用した就業相談や就職紹介を行う。

